JAIST Repository
https://dspace.jaist.ac.jp/

Title	EUの科学技術における男女均等政策 : Innovation through Gender Equality(<ホットイシュー>科学技術人材と男女共同参画(2),一般講演,第22回年次学術大会)
Author(s)	吉祥, 瑞枝
Citation	年次学術大会講演要旨集, 22: 278-281
Issue Date	2007-10-27
Type	Conference Paper
Text version	publisher
URL	http://hdl.handle.net/10119/7264
Rights	本著作物は研究・技術計画学会の許可のもとに掲載するものです。This material is posted here with permission of the Japan Society for Science Policy and Research Management.
Description	一般講演要旨

JAIST
JAPAN
ADVANCED INSTITUTE OF
SCIENCE AND TECHNOLOGY

Japan Advanced Institute of Science and Technology

１Ｇ１３

EU の科学技術における男女均等政策

-Innovation through Gender Equality-

○ 吉祥　瑞枝　（サイエンス スタジオ・マリー　東邦大学）

Gender Issues in Research -Innovation through Gender Equality Conference” was held in Berlin in April 2007, organized by the Centre of Excellence Women and Science. Gender equality and the innovation potential in science, engineering and technology was discussed. Recent progress in EU on Women and Science is briefly described.

1. はじめに

2007 年 4 月 18 日と 19 日の 2 日間にわたり、EU 議長国ドイツがヨーロッパにおける機会均等年[1)]として、ドイツ連邦教育研究省主催、CEWS[2)]に組織された「研究におけるジェンダー問題―イノベーションは均等から一（Gender Issues in Research -Innovation through Gender Equality Conference）会議」[3)]がベルリン、ブランデンブルグ門すぐ脇 Axica Kongress und Tagungszentrum において開催された。ドイツを中心に EU 加盟国や加盟国候補国、内外からの参加があるなど（登録者は 300 名以上）このテーマへの関心の高さが伺えたこの会議での議論に基づいて最近の EU における動向について紹介する。

2. イノベーション：ジェンダーの新次元　Innovation: The new Dimension of “Gender”

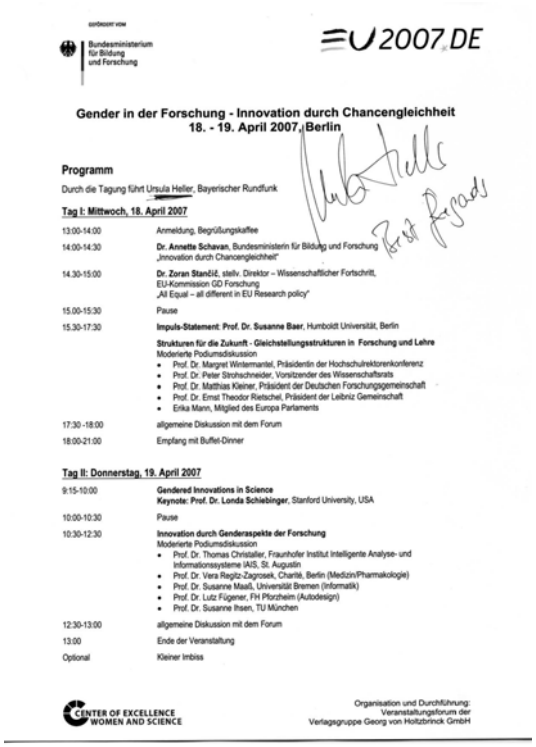
「研究におけるジェンダー問題―イノベーションは均等から一会議」はドイツ連邦教育研究省 Dr Annette Schavan BMBF 大臣の開会の辞で始り、“New Perspectives for German Universities and Research”と題してドイツにおける大学での女性教授の増加、政治的圧力による方策が研究における文化を変化させるかもしれない。国際基準と比較して困惑させられほどのドイツの女性参画の低さをいかに増加にむけて改善するかなど力強く論じた。

EC 委員会研究総局次長 Dr. Zoran Stancic は“All equal - all different in EU Research Policy”続いてフンボルト大学の Prof. Dr. Susanne Baer が概要“Equality of Opportunity and Gendered Research: Quality Upgrade for German science”を紹介し、ドイツ審議会、協会などの機関の 4 名と欧州議会 1 名、計 5 名による“Structures for the Future - Gender Equality Structures in Research and Education”活発な円卓討論が催された。TV ニュースキャスターによる司会が際立っていた。

基調講演は米 スタンホード大学 Prof. Dr. Londa Schiebinger が”Getting more Women into Science- Knowledge Issues“と早口で力強い講演をした。引き続いて研究所、医薬、情報、デザイン、エンジニアリング関係者 5 名による”Innovation through aspects of Gender in Research”の事例をあげて円卓討論とフロアーからの参加者を交えた討論で締め括られた。

CENTER OF EXCELLENCE WOMEN AND SCIENCE

（図１ CEWES プログラム）



Bundesministerium für Bildung und Forschung

EU 2007.DE

Gender in der Forschung - Innovation durch Chancengleichheit
18. - 19. April 2007, Berlin

Programm

Durch die Tagung führt Ursula Heller, Bayerischer Rundfunk

Tag I: Mittwoch, 18. April 2007

13:00-14:00	Anmeldung, Begrüßungskaffee
14:00-14:30	**Dr. Annette Schavan**, Bundesministerin für Bildung und Forschung „Innovation durch Chancengleichheit"
14.30-15:00	**Dr. Zoran Stančić**, stellv. Direktor – Wissenschaftlicher Fortschritt, EU-Kommission GD Forschung „All Equal – all different in EU Research policy"
15.00-15:30	Pause
15.30-17:30	**Impuls-Statement: Prof. Dr. Susanne Baer**, Humboldt Universität, Berlin **Strukturen für die Zukunft - Gleichstellungsstrukturen in Forschung und Lehre** Moderierte Podiumsdiskussion • Prof. Dr. Margret Wintermantel, Präsidentin der Hochschulrektorenkonferenz • Prof. Dr. Peter Strohschneider, Vorsitzender des Wissenschaftsrats • Prof. Dr. Matthias Kleiner, Präsident der Deutschen Forschungsgemeinschaft • Prof. Dr. Ernst Theodor Rietschel, Präsident der Leibniz Gemeinschaft • Erika Mann, Mitglied des Europa Parlaments
17:30 -18:00	allgemeine Diskussion mit dem Forum
18:00-21:00	Empfang mit Buffet-Dinner

Tag II: Donnerstag, 19. April 2007

9:15-10:00	**Gendered Innovations in Science** **Keynote: Prof. Dr. Londa Schiebinger**, Stanford University, USA
10:00-10:30	Pause
10:30-12:30	**Innovation durch Genderaspekte der Forschung** Moderierte Podiumsdiskussion • Prof. Dr. Thomas Christaller, Fraunhofer Institut Intelligente Analyse- und Informationssysteme (AIS, St. Augustin • Prof. Dr. Vera Regitz-Zagrosek, Charité, Berlin (Medizin/Pharmakologie) • Prof. Dr. Susanne Maaß, Universität Bremen (Informatik) • Prof. Dr. Lutz Fügener, FH Pforzheim (Autodesign) • Prof. Dr. Susanne Ihsen, TU München
12:30-13:00	allgemeine Diskussion mit dem Forum
13:00	Ende der Veranstaltung
Optional	Kleiner Imbiss

CENTER OF EXCELLENCE WOMEN AND SCIENCE

Organisation und Durchführung: Veranstaltungsforum der Verlagsgruppe Georg von Holtzbrinck GmbH

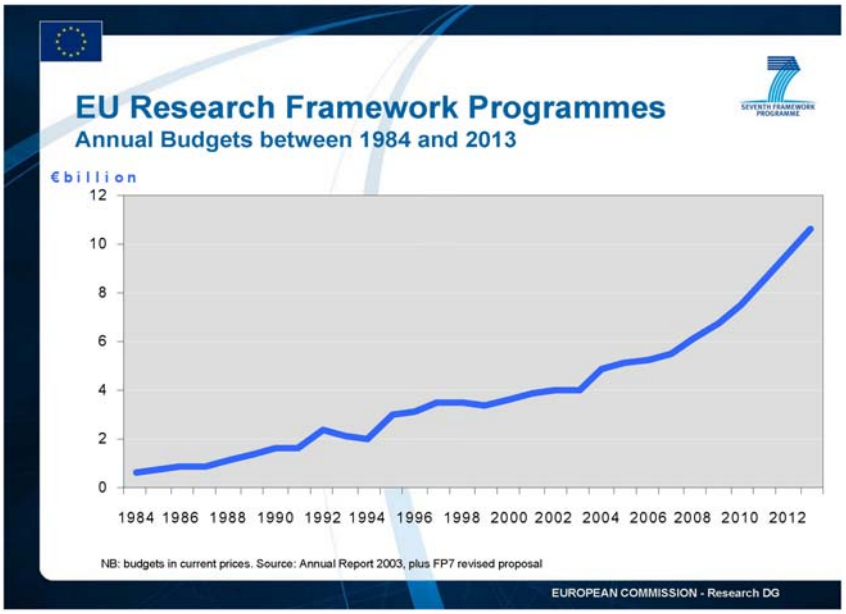
３．FP： The Framework Programme of the European Community (EC) for research and technological development

FP はヨーロッパにおける EU の主な研究資金の配分枠であり 1984 年に開始された。 FP6[4)]は 2003 年から 2006 年で 175 億ユーロ、現行の FP7[5)]は“Tomorrow’s answers start today”のキャチーフレーズのもとに雇用、競争および生活の質への対処で 2006 年 12 月に採択された。その期間は 2007 年から 2013 年で総額 505 億 2 千百万ユーロ（Euraton のぞく）である。FP 予算の推移（1984-2013）は 1984 年来の増加の割合は FP7 で急速に増大して終了予定年には 100 億ユーロを越えている。（図２）

4. 女性の参画

1999 年に EC は女性が委員会、グループ、パネルに参画を 40%の目標値を決めた。その進捗は（表１）の如くである。

（図 ２） EU FP 研究予算の推移 1984-2013



（表１） FP5, FP6 の女性参画 40% 達成進捗状況

FP	評価パネル	アドバイスグループ	専門 データベース	プログラム委員会
FP5	22%	28%	17%（2001 年）	22%（2001 年）
	27%			
FP6	32%（2004 年）	29%（2005 年）	24%（2004 年）	31%（2005 年）

（Source: Promoting Women’s Participation in the FP）

5. 女性と科学　Women and Science

“女性と科学”[6]プログラムはFP7の科学と社会(Science and Society)[7]プログラムの一つで、他に“教育と科学”,”倫理“,”科学賞“,”科学コミュニケーションと一般の理解“,”科学とガバナンス“プログラムがある。”女性と科学”は統計、機会増大、均等推進、女性の産業界での研究開発などを支援する。FP6科学と社会の予算は8,000ユーロである。

女性と科学（Gender difference, gender equality）は科学におけるジェンダーバランスの公正を規するために科学政策に焦点をあて、長期にわたる監視や専門家のアドバイスを必要とする。統計の重要性はその正確さと時宜を得たものであること。1999年11月 ECにより設立されたヘルシンキ グループ会議に因み､FPと提携してEU加盟国代表が科学における女性参加と均等目的として推進する。特に各国統計担当を決め、長年 女性科学者や政策担当者が科学分野の女性参加のための統計に欠けていた性別統計分析ジェンダー指標 *She Figures*[8]構築し、また、女性と科学ユニットとEUROSTAT[9]によって統計が整えられている。EUROSTATは各国および地域間比較を可能にし、高品質の統計情報サービスを供する。データーはネットで取り込める。

6. Women in Industrial Research (WIR)　Bridging the Industrial Research Gender Gap

2001年以来 WIR[10]は企業の女性研究者における不均衡を正してきた､それによりヨーロッパの産業はR&Dにおける均等の利点のよさが分かるようになってきている。さらにリスボン戦略における知的基盤経済体の目標は世界の主なライバルにたいし企業はイノベーションで対処するに今後、幾千の研究者を必要としている。 WIRは企業の女性研究者の役割と参加を分析し,企業に働く女性研究者を支援していく。2003年10月WIR　Speeding Up Changes In Europe 国際会議がベルリンで開催され、ECは女性と科学技術（Women in Science and Technology WiST)ワーキンググループを設立した。

2006年5月15日と16日にわたってWiST会議[11]が“Re-searching Women in Science and Technology”（企業研究の女性割合を増やすために）EC委員会と議長国オーストリア共催でウィーンにおいて催された。この機会に女性と科学技術のEU専門グループがジェンダー問題に関して報告書”ビジネス展望“を出した。

7. 女性と科学 最近の進展とイベント

“Women and Science Headline 22”(2007年7月23日発刊)のUnit Scientific Culture and Gender Issues の最近の主たる進展は以下のようである。

① EC委員会は加盟国とEUレベルで差別闘争のオンライン相談を開始した。これはジェンダーバイアス、宗教、信仰、障害、年齢、性など労働市場を超えた領域での差別に取り組む新しい方策である。権利としての平等な取り扱いを人々に知らしめる目的と、社会が多様性の有用さの幅広い論議を推進とすべての人に機会均等ヨーロッパ年（European Year of Equal Opportunities for All）として十分な揺さぶりを担っている。

2007年1月のユーロバロメータ（世論指標）ではヨーロッパ人の64%は差別が広く国中にあり、51%の人は差別問題に十二分に戦っていないと思っている。

②“2007年ヨーロッパ 科学週間”[12]は2007年11月19日から25日にかけて催される。

③“2007年科学技術とイノベーション”[13]の基調統計数字が2007年6月に発表された。

④“デジタル未来の知識と技量会議”が 2007 年 9 月 6 日から 7 日にかけてロンドン 工学技術協会で催される。
⑤“ナノ材料と研究技術におけるジェンダーワークショップ”が 2007 年 10 月 18 日から 19 日にかけてスエーデン ヨーテボリで催される。
⑥“ナノ サイエンスにおける女性科学者の役割強化会議”[14]が 2008 年 3 月 6 日から 7 日にかけてドレスデン ドイツで催される。
⑦“女性工学技術研究国際会議 An international conference on women in engineering and technology research”が 2007 年 10 月 26 日から 27 日にかけてパリで催される。EU の FP6 科学と社会：PROMETEA[15](Empowering Women Engineers in Industrial and Academic Research)Project のもとに、ENS Cachan, INSA Lyon, CDEFI, ECEPIE により組織され、専門家が工学技術研究キャリアにおけるジェンダー問題の意見交換と専門家による新しい工学技術研究の新しい展望を持ち寄る。男女のキャリア、工学技術研究、PROMETEA 研究の問題などのセッションと研究者、学生、政策担当者、ジェンターと研究の研究者などによる円卓討議など予定されている。

8 結論

あらゆる人の機会均等ヨーロッパ年（European Year of Equal Opportunities for All）―人種、宗教、障害者、年齢、性別の差別なく―の理念のもとに、科学技術分野における差別撤廃を推進していく。若手研究者から政治や戦略決定のマネージャー、科学に関係する人々、特に産業、民間企業を対象とし統計を整え、バランスよく均等政策を積極的に展開している。

参考文献:

1) http://ec.europa.eu/employment_social/eyeq/index.cfm?cat_id=EY
2) CEWS Cener of excellence women and science www.cews.org
3) Innovation http://www.cews.org/konferenz-innovation/en/links.php
4) FP6 women and science http://cordis.europa.eu/science-society/women.htm
5) FP7 http://cordis.europa.eu/fp7/about_en.html
6) Women and Science http://ec.europa.eu/research/science-society/index.
7) Science and Society http://ec.europa.eu/research/science-society/index.
8) She figures http://ec.europa.eu/research/science-society/pdf/she_figures_2003.pdf
9) EUROSTAT http://epp.eurostat.ec.europa.eu/portal/
10) WIR http://ec.europa.eu/research/science-society/women/wir/index_en.html
11) WiST http://ec.europa.eu/research/science-society/index.
12) European Science Week 2007 http://ec.europa.eu/research/science-society/index.
13) http://ec.europa.eu/invest-in-research/monitoring/statistical01_en.htm
14) Nano Science http://cordis.europa.eu/nanotechnology/
15) PROMETEA http://www.prometea.info/conference2007/

Key words: Women and Science, FP6, FP7, WIR, Innovation, She figures, EUROSTAT, European Year of Equal Opportunities for All

連絡先 E-mail:Kissho-y@fol.hi-ho.ne.jp